

## 普及だより



南予地方局産業経済部八幡浜支局

地域農業育成室・産地戦略推進室 〒796-0048 八幡浜市北浜 1-3-37

大洲農業指導班 〒795-8504 大洲市東大洲 174

西予農業指導班 〒797-8501 西予市宇和町卯之町 3-434-1

ホームページアドレス <https://www.pref.ehime.jp/nan53106/yawahama/index.html>

TEL0894-23-0163 FAX0894-23-1853

TEL0893-24-4125 FAX0893-24-5284

TEL0894-62-0407 FAX0894-62-5543

令和2年1月発行

りょくはくじゅゆうこうしょう こうのさとし  
**農事功績表彰（緑白綬有功章）を受章＜河野敏氏＞**

令和元年度農事功績表彰（公益社団法人大日本農会主催）が、11月21日に東京都で行われ、愛媛県代表として推薦されていた八幡浜市布喜川の河野敏氏が、「緑白綬有功章」を受章されました。

河野氏は、温州みかんのマルチ栽培を行うなど消費者ニーズに適合した良食味生産に取り組む一方で、品種の更新を実施。さらに園内道・作業道の設置、個人スプリンクラーを導入して省力栽培を確立されました。

また、JA理事や農業委員、八協共選長など農業者組織の会長を歴任し、適地適作を基本とした園地の再編整備やブランド化、農地集積に取り組むとともに、研修生や新規就農者の受け入れを熱心に行うなどかんきつ産地の振興に大きく貢献されています。

この受章を機に、さらに地域の中心的な農業者として一層の活躍が期待されています。



【表彰を受けた河野氏】

**全国優良経営体表彰（農林水産大臣賞）を受賞＜じゅらす農房＞**

農林水産省と全国担い手育成総合支援協議会が共催する令和元年度全国優良経営体表彰において、八幡浜市の農業生産法人 株式会社 じゅらす農房（代表 岡本義弘氏）が農林水産大臣賞を受賞し、12月5日に静岡県静岡市で開催された「第22回全国農業担い手サミット in しずおか」で表彰されました。

この表彰は、意欲と能力のある農業者の一層の経営発展を図るため、昭和61年度から実施しているもので、経営改善部門の他6部門において、経営発展の取り組みで優れた功績をあげた者を顕彰することとしています。

じゅらす農房は、平成26年に法人化後、施設整備等による生産性の飛躍的向上と労働力の削減、タロコや清見の導入による労力分散や加工部門の立ち上げによる販売額の増大、また、代表者の妻の柑橘応援隊として活躍などが評価されました。

岡本氏は受賞後「日常、栽培管理等、一生懸命に取り組んできたことへの評価の一つだとありがたく感謝します。今後も日々、精進して経営改善に取り組み、経営発展・産地振興に努めたい」と抱負を述べられています。



【表彰を受けた岡本氏】

## スマート農業実証加速化プロジェクトの取組み

好きなタイプは？と聞かれて「スマート（smart）な人」と即答する人も多い。そんな会話のスマートと別の意味で使われているスマート農業とは、ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用して省力・高品質生産を実現する農業のことです。八幡浜支局では、モデル農家（8戸）、JAにしようわ、八幡浜市、伊方町、県、果樹研究センター、みかん研究所、農研機構の連携のもと、2年間このプロジェクトに取り組んでいます。先端技術を柑橘の生産から出荷までの営農一貫体系で活用して、未来型柑橘産地を目指します。

実証する技術体系の概要は、

- ◆ **気象ロボット**：気温、湿度、日射量、雨量、土壌（水分、温度、EC）、映像で圃場をモニタリングします。そのデータを基に生産者は最適な栽培管理をします。
- ◆ **アシストスーツ**：柑橘の運搬作業の軽労働化を図ります。
- ◆ **AI 選果機**：AI 選果機で庭先選別を省略化。収穫した果実を庭先選別なしで共同選果場にもっていくことができます。
- ◆ **経営・栽培管理システム**：パソコンやスマートフォンでクラウドアプリに入力して栽培管理の「見える化」を図ります。

この4項目の実証を行っています。

対象の柑橘は、マルドリ園地で温州みかん5園地（八幡浜市）、施設甘平3園地（伊方町）です。

目標 10a 当たり収量：2割～3割向上

10a 当たり労働時間：2割削減



【気象ロボット】



【AI 選果機実証】

## シャインマスカット冬季出荷の取組み

大洲喜多地区は質・量ともに県下一のぶどう産地が形成されており、中山間地域における重要な経営品目となっています。しかし、シャインマスカットは高価格で販売されるものの産地間競争が激化しているのが現状です。そこで、シャインマスカットの冬季出荷による新たなブランド製品の開発等を目指しています。

平成30年と令和元年に南予地方局予算「ぶどう産地力向上促進事業」でシャインマスカットの低温貯蔵試験を行い、冬季出荷技術確立に向けてフレッシュホルダー（給水器）の効果と、果実袋やビニルの比較調査をしました。その結果、フレッシュホルダーと果実袋を組合せた房では軸枯れせず、果粒もみずみずしくて張りがあり、鮮度が十分に保たれていました。

12月中旬にクリスマス商材として松山青果へ試験的に出荷したところ、ハウス栽培以上の単価で販売でき、市場担当者からも高評価が得られました。



【フレッシュホルダーの装着状況】



【冬季出荷のシャインマスカット】

## 基盤整備型農地集積による集落営農の推進

西予市では、高齢化や担い手不足による水田農業の維持管理が難しい状況にあります。

地域の水田農業を維持していくためには、基盤整備を進め、できる限り地域の集落営農組織に集積し、地域が一体となって農地を継承していくことが重要です。

そこで宇和町伊延西地区と、野村町太田・権現地区では「農地中間管理機構関連農地整備事業」を活用し、農業者の費用負担なしで「ほ場整備」に取り組んでいます。

《伊延西地区》

「農事組合法人のべにし」は、令和元年度から17.9haの水田を基盤整備し、農地を集積して水稻を中心に、飼料米、大豆、小麦、高収益野菜(たまねぎ、かぼちゃ、キャベツ)の栽培に取り組み、水田フル活用を基本に経営規模の拡大及び経営の多角化による法人運営により、水田地帯における集落営農モデルの創出を目指します。

《太田・権現地区》

野村町は、酪農の盛んな地域であり水稻を中心にWCS、飼料作物、野菜等栽培されていますが、狭小な農地が多いため、地域農業の維持が喫緊の課題となっています。当地区では、令和2年度から約8haの農地を基盤整備し、青ネギ、ケールなど高収益野菜の導入及び省力化・低コスト化を図ることで担い手への集積・集団化を促進し、耕畜連携による持続可能な新たな集落づくりを目指します。



【営農計画策定の検討】

## ニラを栽培してみませんか

産地戦略推進室では、西予市を中心にニラの産地化に取り組んでいます。

軽量で女性や高齢者でも栽培し易く、小面積のハウス施設や露地で栽培を始められます。1か月に1度収穫した後は、追肥をすると再び同じ株から収穫できますが、品質の良いニラを採るために2年で植え替えをします。

収穫期間は、露地、施設とも春～秋です。販売は松山、大阪が中心で、大阪での夏季販路拡大を検討中です。



【収穫直前の露地栽培ニラ】

栽培に興味のある方は、八幡浜支局産地戦略推進室までお問い合わせください。

(JAひがしうわ栽培指針より)

品種	ハイパーグリーンベルト、ミラクルグリーンベルト、タフボーイ												凡例：○播種 …育苗 ■定植 一株養成 ww花摘み ×刈揃え □収穫																																
	12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月											
作期	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
ハウス栽培 (2年1作)	○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○					

## 第 21 回米・食味分析鑑定コンクール：国際総合部門金賞を受賞

### ＜田力本願株式会社 梶原雅嗣 氏＞

米・食味鑑定士協会が主催する第 21 回米・食味分析鑑定コンクールにおいて、西予市宇和町の田力本願株式会社の梶原雅嗣氏が出品した「ひめの凜」が、最高位である国際総合部門の金賞を受賞しました。

このコンクールは米の美味しさを競う国内最大の大会で、全国から 5,137 点の出品があり、過去 4 番目に出品数の多い大会となりました。今回の国際総合部門（金賞 18 点）の受賞は、県内では初となる快挙です。

梶原氏は減農薬・減化学肥料による米の生産や耕畜連携に取り組むことで、高品質多収栽培を目指しています。

また田力本願株式会社の一員として、宇和米の販売促進活動や 6 次産業化、ブランド化などに尽力しています。今後も地域の米生産者をけん引する若きリーダーとして、一層の活躍が期待されています。



【表彰を受けた梶原氏(前列左より 3 人目)】

### 期待の県育成水稻新品種「ひめの凜」

水稻新品種「ひめの凜」は、愛媛県が美味しさにこだわり 16 年の歳月をかけて開発したお米で、しっかりとした噛みごたえや、華やかな香りと上品な甘みの特徴です。また、夏の暑さに強く、収量が多いといった特徴もあります。

栽培初年となる令和元年は、県が定める栽培基準を遵守する認定栽培者 110 名により、県下 64ha で栽培されました。収穫されたお米は、食味を分析し「美味しさ基準」により 3 つのランク（プレミアムクオリティ、ハイクオリティ、スタンダードクオリティ）に区分するなど、美味しいお米を消費者に届けるために、県・JA・生産者が一丸となって取り組んでいます。



【「ひめの凜」のイメージデザイン】

## ◆◆◆◆ 大洲・西予農業指導班庁舎移転のお知らせ ◆◆◆◆

＜大洲農業指導班＞

大洲庁舎建て替えのため、令和 2 年 1 月 14 日から下記住所に移転します。

新住所：大洲市東大洲 174（旧ダイキ大洲店舗） 電話・FAX の変更はありません。

＜西予農業指導班＞

図書館建物取り壊しのため、西予市役所 3 階に移転しました。

住所・電話・FAX の変更はありません。（市役所 3 階農業水産課の横）

